



平成30年度

障がいのある人への自立支援

障がいのある人が個人としての尊厳を保ちながら、安心して暮らすことができる地域をつくるために、どのような取組が求められているのでしょうか。

この研修では、障がいのある人をめぐる法制度の動向や、市町村の障がい者福祉施策の現状や課題を理解し、一人ひとりにあった自立を支援するための施策を企画・立案できる職員の能力向上を図ります。

研修のポイント

- ◆ 障がいのある人をめぐる法制度の動向や、施策の変遷について学びます。
- ◆ 経験豊富な講師による講義等から、地域に根差した障がい者福祉施策を考える力を養います。
- ◆ 演習では、地域ニーズや現状を踏まえ、自立支援施策について検討します。

開催要領

日程

平成30年11月12日(月)～11月16日(金) (5日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村等の障がい者福祉担当の職員

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

16,250円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食4回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成30年10月1日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

11月12日(月)

- 14:00～15:30 **入寮受付**
 16:00～ **開講・オリエンテーション**
 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

11月13日(火)

- 9:25～12:00 **講義 障がい者福祉政策～改正障害者総合支援法を中心に～**
 愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授 吉川 雅博氏
 平成30年4月に完全施行となった改正障害者総合支援法を中心に、障がい者福祉の最新動向をお話しいただき、市町村の役割や現状と課題について理解を深めます。
- 13:00～15:35 **講義 障がい者の権利擁護**
 特定非営利活動法人DPI(障害者インターナショナル)日本会議 議長補佐 崔 栄繁氏
 障害者権利条約、障害者差別解消法などの制定の背景や目的、また障がい者の権利擁護に向けた取組についてお話しいただきます。
- 15:50～17:00 **事例紹介 市町村の相談支援体制** 半田市福祉部地域福祉課 主事 村瀬 洋紀氏
 半田市社会福祉協議会 半田市障がい者相談支援センター 徳山 勝氏
 半田市では、障がいのある人も住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていくことができるように、障がい者相談支援センターの設置による支援体制を構築されています。個別課題解決に向けた部会の取組や、互いの強みを活かした官民協働による継続的な取組による効果についてもお話しいただきます。

平成30年

11月14日(水)

- 9:25～12:00 **講義 障がい者の自立支援～市町村に求められていること～**
 日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿氏
 障がいのある人が望む地域生活を営めるよう、「生活」や「就労」に対する施策の見直しが行われている中、今一度「障がいのある人の自立を支援する」とはどういうことを考えます。市町村に求められている役割や、関係機関や地域との関わり等についてもお話しいただきます。
- 13:00～14:10 **講義 障がいがあっても私らしく生きる**
 株式会社仙拓 代表取締役社長 佐藤 仙務氏
 コーディネーター:日本相談支援専門員協会 顧問 福岡 寿氏
 佐藤氏は難病の脊髄性筋萎縮症というハンディを背負い、働く場所がない苦境の中から、19歳で会社を立ち上げられました。その経緯をお話しいただくとともに、障がい者の自立や働くことについて、そして自分らしく生きることとはどういうことなのかなど当事者の立場からお話しいただきます。
- 14:25～15:35 **事例紹介** 自治体による自立支援の取組についてお話しいただきます。
- 15:50～17:00 **事例紹介 Good Job! プロジェクト ～障がいのある人とつくる新しいはたらき方～**
 一般財団法人たんぼぼの家 理事 森下 静香氏
 障がいのある人と協働し、アート・デザイン・ビジネス・福祉の分野を超えて、新たな仕事とはたらき方を作る仕組みや、Good Job!センター香芝や、Good Job! Awardの取組内容などについてお話しいただきます。
- 17:00～ **課外学習 グループ討議**

平成30年

11月15日(木)

- 9:25～12:00 **講義 障がい児支援とその取組** 上智大学総合人間科学部社会福祉学科 教授 大塚 晃氏
 地域において障がいのある子どもとその家族を支えていく体制やライフステージに応じた保健・医療・福祉・教育・就労の連続性のある支援の必要性など、障がい児支援における現状と課題についてお話しいただきます。
- 13:00～14:10 **講義 地域(自立支援)協議会の活用**
 滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 中島 秀夫氏
 障がいのある人が暮らしやすい地域社会を目指すには、医療、福祉、教育、就労等に関する地域資源が連携して「地域(自立支援)協議会」を構成し、ライフステージを通じた支援体制を構築することが不可欠です。「地域(自立支援)協議会」の役割やネットワーク構築、都道府県・市町村(自立支援)協議会間の連携の重要性についてお話しいただきます。
- 14:25～17:00 **演習 グループ討議** 滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 中島 秀夫氏
 グループに分かれ、各市町村の現状や課題について情報共有・意見交換を行います。講師指導のもと自立支援施策案について考えます。
- 17:00～ **課外学習 グループ討議**

平成30年

11月16日(金)

- 9:25～14:10 **演習 発表・質疑応答・講評** 滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 中島 秀夫氏
 グループで作成した案を発表し、全体で情報共有、講師から講評をいただきます。最後に、研修全体のまとめを行います。
- 14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**